

2024年度入試

# 入学試験問題集

【大学院心理学研究科 修士課程】



東京成徳大学大学院  
心理学研究科臨床心理学専攻

# 目 次

修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 英語 .....	1
修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 小論文 .....	3
修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験 専門科目 .....	4
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 英語 .....	8
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 小論文 .....	10
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験 専門科目 .....	11
出題意図・解答例.....	14

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

【英語】（試験時間：60 分）

出題文章の著作権使用許可が下りなかったため、本文及び設問を掲載しておりません。なお問題文は「Best Practices in the School Psychologist's Role in the Assessment and Treatment of Students With Communication Disorders. 1513-1521. *Best Practices in School Psychology IV : National Association of School Psychologists (NASP).*」より引用して出題しています（問題文：約 180 語）。

**問題2** 次の英文を読んで、以下の問いに答えてください。

① Hikikomori, a severe form of social withdrawal, is a serious mental health issue in Japan. Hikikomori is characterized by (a) staying at home for most of the day; (b) avoiding social participation (e.g., working and schooling) ; and (c) these conditions continuing for at least 6 months (Saito, 2010).

Hikikomori is often comorbid with a variety of mental health problems (Kondo et al., 2013; Teo et al., 2015). Due to lack of knowledge on mental health problems, and stigma (or embarrassment) regarding both mental health in general and hikikomori in particular, many family members hesitate to approach hikikomori sufferers or seek professional help for several years (Kato, Shinfuku, Sartorius, & Kanba, 2017). Therefore, family interventions to acquire appropriate knowledge and skills in approaching hikikomori sufferers, and for reducing stigmatizing attitudes, are strongly warranted.

In a previous study, we developed a "5-day hikikomori intervention program for ② family members"… (中略) … aimed at supporting family members in approaching hikikomori sufferers. (中略)

In the present study, we modified the 5-day program to ③ a 3-day program (180min fortnightly), and examined the effectiveness of the 3-day program using a single-arm procedure. Data of 23 parents (four fathers and 19 mothers; age = 62.0 ± 9.1 years) were analyzed. Mental health conditions among participants themselves improved at the 4-month follow-up, but the confidence in hikikomori support declined and stigma toward mental health problems did not change. However, short-term improvements in perceived skills in approaching hikikomori sufferers were detected. Hikikomori sufferers' actual behavioral changes, such as social participation or utilization of support, were also observed (six out of 20 hikikomori sufferers).

The present study has several critical limitations. First, the present study utilized a single-arm design with no controls, therefore causation of the program is not elucidated. Second, the size in terms of the number of subjects was small. Selection bias for participants may have affected the present results.

(出典:H. Kubo, H. Urata, M. Sakai, S. Nonaka, J. Kishimoto, K. Saito, M. Tateno, K. Kobara, D. Fujisawa, N. Hashimoto, Y. Suzuki, Y. Honda, K. Otsuka, S. Kanba, T. Kuroki, T. A. Kato (2023) Development of a 3-Day Intervention Program for Family Members of Hikikomori Sufferers, Japanese Psychological Research, 65 (2), 190-199. より抜粋)

**【問題1】** 下線部①に関して、ひきこもりの特徴3点を文中に書かれている内容から説明してください。

**【問題2】** 下線部②に関して、ひきこもり当事者の家族は、当事者への関わりや専門的支援を受け始めるまでにどのくらいの時間を要するとされていますか。文中に書かれている内容から理由とともに説明してください。

**【問題3】** 下線部③に関して、このプログラムの効果および研究上の問題点をまとめてください。

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

## 【小論文】（試験時間：60 分）

**問題** 以下の「校則」と「こども基本法」に関する文章を読み、児童・生徒に「子どもの権利」の理解を促す取り組みについて論じなさい。その際、「子ども固有の権利」と「子どもの人権」を文中に含めること。

「髪の一斉黒染め」や「下着の色指定」など、いわゆる「ブラック校則」に対する社会的関心が高まり、各地で校則見直しの動きが進んでいる（勝野、2022）。

こども基本法第三条（基本理念）第 3 号と第 4 号は、以下のような条文になっている。

（基本理念）

第三条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

子ども達が権利の主体であることを鑑み、子ども達自身がそのことを自覚し、自ら行使できるようにするために、子どもの権利についての理解を促す取り組みを推進する動きがある。実際に、都立高校における校則改正は、2021 年 4 月に、東京都教育委員会が具体的な項目を挙げ、教職員と生徒、保護者等が話し合う機会を持つよう指示した結果、実現した例であった。学校教育の内容に踏み込み、おとなと同様の権利主体として自由に意見を表明する「子どもの人権」を保障した先駆例として注目されている。

一方で、学校や教育行政を中心に、子どもたちが権利主張することへの警戒感の訴えも存在する。子どもは未熟であり、「その年齢及び発達の程度に応じて」保護が必要な「子ども固有の権利」を特別に有しているという（伊藤、2020）。上記の高校生の例を、小学生の児童にあてはめて考えると分かりやすい。小学生は、自己の権利要求を顕在化させることが困難である。対話集会などの機会を与え、「自由に意見を表明」することが「子どもの人権」保障にはならない。おとなと同じような権利主体とみなして「子どもの人権」を理解させることよりも前に「一人前のおとな」になるまでの保護や指導を優先すべきという考えもある。

**【解答欄】**（注）文章はこの解答欄に収めること。

# ●修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験

## 【専門科目】（試験時間：90 分）

問題 1 以下の 1～10 に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- ・統計的仮説検定において、帰無仮説が偽であるのにそれを偽として棄却しない誤りのことを（ ① ）という。
- ・随伴性マネジメントにおいて、弁別刺激、反応、反応結果の 3 つからなる連鎖を（ ② ）という。
- ・文部科学省は、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的背景・要因により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため（ ③ ）日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由によるものをのぞいたものを不登校児・生徒と定義している。
- ・安静時や休息時には（ ④ ）神経系が優位となるため、心拍数や呼吸数は減少するが、消化管の運動は活発となる。
- ・防衛機制の一種であって、知覚、記憶、自己同一性等の結合が失われることを（ ⑤ ）という。
- ・多くの人が持つ「変わろうとする理由」と「今のままでいる理由」のような両価的な信念に非指示的に働きかけ、行動変容を促す面接法を（ ⑥ ）という。
- ・同じ知能検査を施行した際に、以前の世代よりも現在の世代の知能指数の平均値が上昇しているように見える傾向を（ ⑦ ）という。
- ・心身症の患者にしばしばみられる、自己の感情を言語化することが苦手な傾向を（ ⑧ ）という。
- ・エインズワースは（ ⑨ ）を用いて乳幼児の愛着パターンを 4 つに分類した。
- ・ミネソタ式人格目録 MMPI は、抑うつや心気傾向などを反映する 10 の臨床尺度と、被検査者の回答が歪曲されているかどうかを反映する 4 つの（ ⑩ ）からなる質問紙法である。

問題 2 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) 平行遊び
- (2) インクルーシブ教育
- (3) ミラーニューロン
- (4) エディプスコンプレックス
- (5) CHC 理論

**問題3** 以下の研究レポートを読み、設問に答えてください。

なお、この研究レポートの内容は、問題と目的から考察まで、すべて試験用の架空のものです。

#### 【問題と目的】

大学生生活に満足感が低い学生は、抑うつや不安が高いことが指摘されている。例えば山田（2022）では、大学生生活の満足感が低い学生ほど抑うつが高いこと、また下田（2009）では、同じく大学生生活の満足感が低い学生ほど不安が高いことが示されている。しかし、これまで抑うつと不安はそれぞれ独立に検討されており、組み合わせによる影響の検討は行われていない。

そこで本研究では、まず大学生の抑うつと不安の組み合わせによる類型化を試みることを第1の目的とし、その類型ごとに大学生生活の満足感に違いがあるかを検討することを第2の目的とする。併せてこれらの結果から大学生への支援への示唆を得ることも目的とする。具体的には、大学生を対象に質問紙調査を行い、抑うつと不安の程度による類型化を行う。続いて、得られた類型ごとに大学生生活への満足感に違いがあるかを検討する。

#### 【方法】

質問紙法による調査を行う。

##### <質問紙の構成>

- ・デモグラフィック変数：（ ）
- ・抑うつの測定：山下 & 玉川（1998）による青年期以降の年代の非臨床群を対象とした抑うつ傾向を測定する尺度「抑うつ傾向測定尺度」全21項目を使用する。点数が高いほど抑うつが強い。
- ・不安の測定：下田（2000）による非臨床群から臨床群までを対象とした全般的な不安傾向を測定できる「成人向け全般的な不安傾向尺度」全18項目を使用する。点数が高いほど、不安が強い。
- ・大学生生活への満足感の測定：木下（2014）による中学生から大学生を対象とした、学校・大学内での友人関係の満足感を測定できる、「友人関係満足感尺度」全8項目を使用する。点数が高いほど、友人関係の満足感が高い。

##### <協力者>

大学生 570 名、平均年齢 19.5 歳（SD=1.52）

##### <手続き>

倫理的な配慮を十分に行い、授業内で質問紙を配布、回収した。

#### 【結果と考察】

まず、抑うつと不安の程度の類型化を行うため、抑うつ、不安の両変数についてクラスター分析（ウォード法）によるクラスタリングを行った。

（出題者注1：クラスター分析は、複数の変数を用いて、同じような傾向を持つ個体をグループにまとめていく方法である。この研究では抑うつと不安のパターンが似ている協力者をグループにしていくことを目的としている。）

その結果、デンドログラム（Figure 3-1）の様相から、3つのクラスターに分けることが適切と判断した。

クラスターごとの各尺度の平均、標準偏差を Table 3-1 に示す。これらの値から、3つのクラスターをそれぞれⅠ（ ）、Ⅱ（ ）、Ⅲ（ ）と命名し、これらを大学生の抑うつ不安の類型とした。

（出題者注2：以降、出題の関係から、命名されたクラスター名を用いず、クラスターⅠ、Ⅱ、Ⅲの表記を用いる）

（次ページに続く）

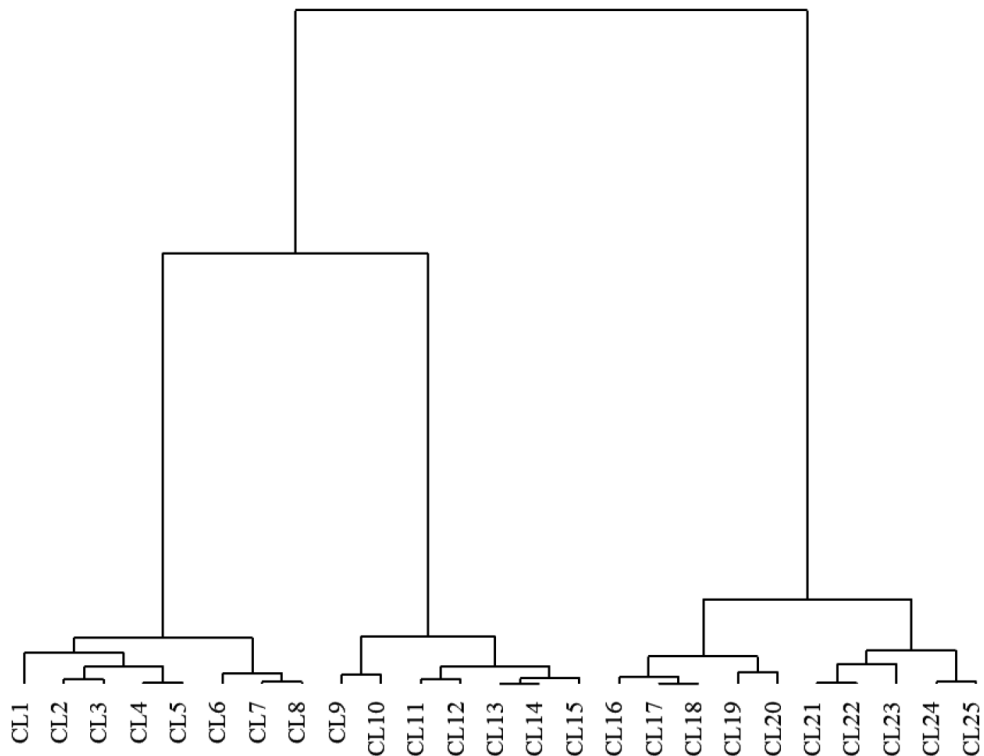


Figure 3-1. 抑うつ-不安のクラスター分析によるデンドログラム

(上位 25 クラスターからの要約)

Table 3-1. クラスターごとの抑うつ、不安、友人関係満足感の平均、標準偏差

クラスター	n	抑うつ		不安		友人関係満足感	
		Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
I	127	51.19	4.10	45.44	3.39	11.39	5.28
II	114	51.82	4.45	11.39	2.17	22.25	6.17
III	329	15.52	4.13	11.47	2.06	21.63	6.16
全体	570	30.73	18.26	19.03	14.35	21.79	6.16

続いて、類型ごとに友人関係満足感に違いがあるか検討するために、3つのクラスターの組み合わせごとに t 検定を行った。その結果を Table 3-2 に示す。

Table 3-2. 友人関係満足感のクラスターごとの比較

比較するクラスタ	t	df	p	Cohen's d
I vs II	14.72	239	0.000	1.894
I vs III	16.54	454	0.000	1.725
II vs III	0.92	441	0.356	0.100

t 検定の結果、クラスター I はクラスター II およびクラスター III より満足感が有意に低く、クラスター II とクラスター III の間には、有意な差はみられなかった。このことから、大学生活満足感を高めるためには、抑うつ、不安それぞれ単独に見てそれを下げる支援をするのではなく、両者の強さの組み合わせを考慮して、抑うつ、不安を下げる支援をすることが有効であるといえる。



【問 3-1】 デモグラフィック変数とはなにか説明してください。

【問 3-2】 尺度の選択に不適切な点があります。どのように不適切であるか、またどのように改めるとよいか回答してください。

【問 3-3】 クラスタ分析の結果を解釈し、各クラスターに命名をしてください。また命名の理由を回答してください。

クラスターⅠの名称

命名の理由

クラスターⅡの名称

命名の理由

クラスターⅢの名称

命名の理由

【問 3-4】 統計的分析方法の選択には誤りがあります。どこを、どのように修正すればよいか回答してください。

【問 3-5】 問 3-2、問 3- 4 の不適切な点を修正し、新たに分析し直したところ、クラスター間による満足感の関係は、修正前と同様の結果でした。その上で、最終的な考察には誤りがあります。どのような誤りがあるか述べてください。

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

【英語】（試験時間：60 分）

問題 1 以下の英文を読んで設問に答えてください。

① Autism Spectrum Disorder (ASD) is characterised by social communication difficulties and restrictive and repetitive patterns of behaviour. In addition to core ASD symptoms, a large body of research has focused on the associations between ASD and mental health problems, particularly internalising disorders.

② For example, recent meta analyses have indicated that anxiety disorders, depression and obsessive compulsive disorder (OCD) are more prevalent in autism compared to the general population. Notably, internalising problems have also been linked to lower quality of life, physical wellbeing, and social functioning in ASD, making them important targets for intervention. Attention deficit hyperactivity disorder (ADHD) characterised by inattention and/or hyperactivity and impulsivity is another neurodevelopmental condition associated with internalising disorders, including anxiety, depression and OCD. Research has further indicated that co occurring depression and anxiety is associated with greater social difficulties in people with ADHD, which can often be difficult to differentiate from ASD symptomology. Moreover, anxiety and depression are thought to underlie the relationship between childhood ADHD and lower quality of life in adulthood.

It is now clear that both ASD and ADHD are associated with internalising problems, which also contribute to many other health difficulties (e.g., sleep disorders) and a lower quality of life in people with these neurodevelopmental conditions. Surprisingly, however, there is far greater emphasis on ASD over ADHD in both research on internalising problems and clinical practice. To complicate matters, ASD and ADHD often co occur, with a recent estimate that around 28% of autistic individuals have co occurring ADHD. The diagnostic co occurrence and overlapping cognitive profiles between ASD and ADHD (e.g., emotional and attentional atypicalities) makes it especially difficult to statistically examine their unique, relative contributions to internalising problems. (後略)

出典：Hargitai, L., Livingston, L. A., Waldren, L., Robinson, R., Jarrold, C., & Shah, P. (2023). Attention deficit hyperactivity disorder traits are a more important predictor of internalising problems than autistic traits. *Scientific Reports*, 13 (1), Article number: 31. DOI: 10.1038/s41598-022-26350-4

【問題 1】下線部の文章を日本語に訳してください。

①

②

【問題 2】筆者らの問題意識を簡潔に日本語で述べてください。

**問題2** 以下には英文とその日本語訳案が書かれています。この英文内容に即した、より良い翻訳文にするためには、訳案のどの語句を修正あるいは挿入したらよいかを考え、解答してください。

解答の際は（2ページ後の）解答欄に書かれた例に倣って、修正すべき語句を四角や丸で囲み修正案をその下に書く、あるいは修正案を挿入すべき箇所には矢印を使って明示して案となる語句を追記するなどの方法で、必要な箇所に追記してください。

出題者側で想定している修正点は（解答例以外に）6箇所ありますが、「想定していないが良い修正である」と評価された解答には加点します。

【英文と訳案】英文の下に書かれた日本語文章が訳案です。

What causes math anxiety?

数学不安の原因は？

Do poor math skills lead to anxiety, or is it the other way around? Beilock and colleagues showed that math anxiety at the beginning of first grade predicted kids' math achievement in first through third grades, above and beyond their foundational math skills (Pantoja, N., et al., Journal of Cognition and Development, Vol. 21, No. 5, 2020). That suggests that anxiety can interfere with future math learning. Still, evidence suggests it can happen in both directions, with anxiety preventing kids from learning, and poor skills increasing their anxiety. "It becomes a cycle," Jameson said.

算数の能力が低いと不安になるのか、それとも逆なのか？ ペイロックらは、小学校1年生の初めの算数不安が、基礎的な算数の手腕以上に、小学校1年生から3年生までの算数の手柄を予測することを示した (Pantoja, N., et al., Journal of Cognition and Development, Vol. 21, No. 5, 2020 2020)。このことは、不安が将来の数学学習を妨げる可能性があることを示唆している。しかし、不安は子供の学習を妨げ、スキルの低さは不安を増大させるという、双方向に起こりうることを示す証拠もある。「ジェイムソンは言う。

While math anxiety can appear in early elementary school, it's common for it to emerge around middle school or junior high, as kids confront more complicated mathematical concepts. And studies show that can happen even among kids with strong math skills. In a longitudinal study, Geary followed teens in grades seven through nine. Their math anxiety tended to increase over those years for all kids, as math lessons became more difficult and increasingly abstract (Journal of Educational Psychology, Vol. 115, No. 5, 2023).

数学への不安は小学校低学年で現れることもあるが、中学生や高校生になると、より複雑な数学的概念に直面するようになる。また、数学が得意な子供たちにも起こりうるということが研究で示されている。縦断的研究で、ギアリー氏は7年生から9年生までの10代の若者を追跡調査した。数学の授業がより難しく、より抽象的になるにつれて、数学に対する不安はどの子供たちにも増加する傾向があった (Journal of Educational Psychology, Vol.115, No.5, 2023 2023)。

As with other studies, Geary found math anxiety was higher in girls than in boys, even after controlling for general anxiety. He also found boys who made stronger gains in math achievement over the study period had lower anxiety. The same wasn't true for girls, however. "Even when girls were excelling in math over that transition, it didn't buffer their math anxiety," he said.

他の研究と同様、ギアリー氏は、一般的な不安を支配できても数学的不安は男児よりも女児で高いことを発見した。また、研究期間中に数学の成績が向上した男子生徒の方が、不安が低いこともわかった。しかし、女子の場合はそうではなかった。「女子がその移行期間中に数学の成績が優秀であったとしても、そのことが男子の不安を軽減することはなかった」と彼は言う。

(出典：Kirsten Weir (2023). How to solve for math anxiety? Monitor on Psychology, 54 (7), 44.44.)

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

【小論文】（試験時間：60 分）

**問題** 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野のうち、1 つの分野を取り上げ、その分野における心理支援の特徴と具体的方法について論じなさい。例えば、主な問題、支援の焦点、支援のアプローチなどです。

# ●修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験

## 【専門科目】（試験時間：90 分）

【問題 1】 以下の 1～10 に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- ・フランスの心理学者である（ 1 ）が、精神科医のシモンと共に開発した知能検査は、その後、改訂を繰り返しながら世界に広く普及した。日本においても、田中寛一が標準化を試み、現在では 2003 年に改訂された第 5 版が使用されている。ウェクスラー式知能検査が偏差 IQ を指標としているのに対して、（ 1 ）式の知能検査（特に 1～13 歳級）は、能力的に何歳相当であるかを示す精神年齢（MA）と生活年齢（CA）との比で知能指数（比率 IQ）が算出されることが特徴である。
- ・（ 2 ）は、子どもはその誕生から死の本能と生の本能のせめぎあいの中に存在しており、不安にみちた世界を生き、無意識的な幻想を抱く能力をもっていると考えた。さらに、その幻想が現実への反応の仕方に影響を与えるとともに、現実からも影響を受ける形で、「妄想-分裂ポジション」と「抑うつポジション」という 2 つの体験の在り方を示した。
- ・人の記憶の中でも、自己や個人のアイデンティティに密接に関わり、個人的な意味を含んだ記憶を（ 3 ）と呼ぶ。（ 3 ）は、時間や場所の情報が付随しているという点でエピソード記憶の 1 つであるが、個人にとって重要な意味をもつ記憶であるという点が異なる。（ 3 ）は、日誌法や質問紙法などによる自己報告によって調べられている。
- ・バンデュラは、実行を伴わず、たとえ直接的な報酬がなくても、他者の行動とその結果を観察しただけで学習が成立するという観察学習の考え方を提示し、社会的学習理論を提唱した。観察学習では、モデルが行動の結果として強化される様子を観察者が見ることで、観察者自身が強化されたのと同じ機能を有することを（ 4 ）と呼んでいる。
- ・（ 5 ）は、仕事に対するポジティブな態度を表す概念である。シャウフェリら（2004）によって、「活力、熱意、没頭を特徴とする、ポジティブで充実した、仕事に関連した心の状態」と定義されている。
- ・C. ロジャーズの弟子である、（ 6 ）は、来談者中心療法の考え方を取り入れ、子どもの自由を尊重し、最小限の制限を設定する非指示的なプレイセラピーを展開した。（ 6 ）が提唱した 8 原則は、プレイセラピーにおけるセラピストの基本的態度として重視されている。
- ・2022 年生徒指導のガイドラインである（ 7 ）が改訂された。新しい（ 7 ）では、チーム学校による一人ひとりの児童生徒の支援が強調され、教師とスクールカウンセラーらの協働が求められている。さらに、すべての生徒への生徒指導を基盤とする重層的支援構造が想定されている。
- ・さまざまな声や音が飛び交う騒々しい状況のなかで、他の音と区別をして特定の人物の声だけに選択的に注意を向け、聞き分けることができる効果を（ 8 ）という。チェリー（Cherry, 1953）はこの効果を、両耳分離聴法を用いて実証的に検証した。
- ・第 54 回 WHO 総会において、国際障害分類（ICIDH）の改訂版として、（ 9 ）が採択された。（ 9 ）では、マイナス（疾患・変調、機能・形態障害、能力障害、社会的不利）を減らすのではなく、潜在的な能力を開発・発展させるようなプラスを増やそうとする考え方が提唱された。
- ・心理テストでは、測定（ 10 ）と妥当性が問題となる。（ 10 ）は、測定内容の一貫性や時間的安定性を意味する。一方、妥当性は、測定する対象を忠実に測定しているかを意味し、「測定対象の内容」、「測定対象について基準となるものとの関連」、「測定対象に関連する概念との関連」という 3 つが妥当性を構成すると考えられてきた。近年では、妥当性概念は、構成概念妥当性に集約される傾向にあり、（ 10 ）も構成概念妥当性の条件の 1 つと考えられている（例えば、Messick, 1996）。

**問題2** 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) タイムアウト (time out)
- (2) 再接近期 (rapprochement)
- (3) 自我同一性地位 (identity status)
- (4) 円環的因果律 (circular causality)
- (5) t 検定 (t test)

問題3 以下の研究レポートを読み、設問に答えてください。なお、出典のタイトルは設問のヒントになるため省略しています。

【目的】

新型コロナウイルスの世界的流行により、社会的交流が制限される状況が続き、精神的健康への悪影響が懸念される。本研究では感染拡大に対する憂慮と孤独感の因果関連を検討する。

【方法】

調査方法と調査対象者

調査会社に委託し、国内在住の20-79歳の成人を対象として、2回にわたる(①)調査を行った。第1回調査(Time 1)を2020年12月、第2回調査(Time 2)を2021年8月にインターネット上で実施した。Time 1は医療現場の逼迫状況が深刻となり、首都圏を中心に2回目の緊急事態宣言が発令された時期に実施された。Time 2は第5波とされる感染者数増加のピークが過ぎ、減少傾向となった時期に実施された。インターネット調査実施にあたり、すべての項目で同じ回答をするなどの偏った回答をしている者等を分析から除外した。その結果、941名(平均年齢49.5歳(SD = 14.5))が分析対象となった。

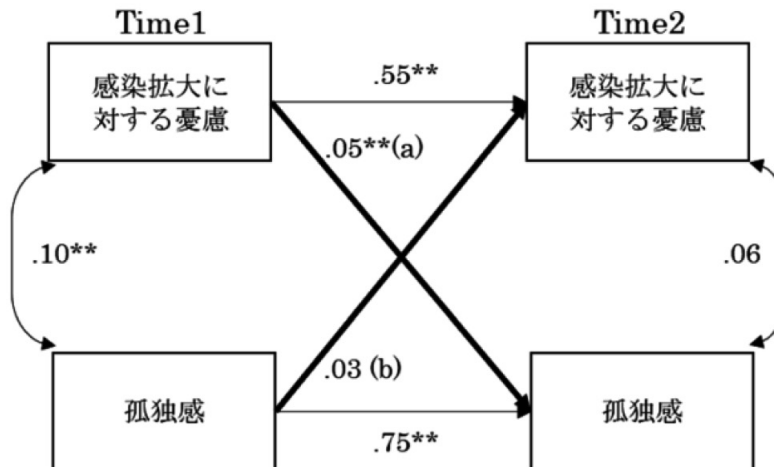
変数

- ・感染拡大への憂慮  
:すでに実施された国内外の調査(Cross Marketing, 2021; Garrett et al., 2021)を参考に8項目を選出し「1. 全くあてはまらない」から「5. あてはまる」の5件法で尋ねた。
- ・孤独感  
:豊島・佐藤(2013)の日本語版UCLA孤独感尺度第3版短縮版を使用した。20項目からなり「1. 該当しない」から「4. いつも」の4件法で尋ねた。本研究において、信頼性係数は(②) = .84であった。
- ・その他の変数  
:社会的交流頻度(1週間のうち友人と会った日数)、年齢、性別、婚姻状況、居住形態(独居かどうか)を尋ねた。

【結果】

感染拡大への憂慮の8項目について、相関が高い項目をまとめ合成変数を作成するため最尤法プロマックス回転による(③)的因子分析を行った結果、1因子構造が妥当であると判断した。信頼性係数は(②) = .88であった。よって、8項目の合計得点を分析に用いた。

感染拡大に対する憂慮と孤独感の得点の因果関係を④交差遅延効果モデルにより分析した(Figure 1)。⑤統制変数は、Palgi et al. (2020)を参考として、年齢、性別、婚姻関係の有無、居住形態、そして各時点の社会的交流頻度とした。



注.  $\chi^2 = 13.13, df = 8, p < .05, \chi^2 / df = 1.64, CFI = 1.00, RMSEA = .03, SRMR = .02$ , 値は標準化係数、\*\* $p < .01$ , \* $p < .05$ , 統制変数と誤差項は省略。

Figure 1 交差遅延効果モデルの分析結果

出典: パーソナリティ研究 第32巻 第1号 11-13. (一部加筆修正)  
(DOI: <http://doi.org/10.2132/personality.32.1.2>)

【補足】社会的交流頻度の平均値は週に1日程度と低く、感染拡大への憂慮との相関は確認されなかった。これは、調査時に政府や各機関から不要不急の外出や対面での交流を控えることが推奨された影響が含まれると想定される。

問 1. 空欄 ① ~ ③ に最も適した語句を解答候補からそれぞれ 1 つ選び、記入してください。

【解答候補】	横断	確認	弁別	共通	クロス	計画	同時	ランダム	負荷
	操作	流動	説明	収束	探索	実証	縦断	観測	$\beta$ $\alpha$ $\eta$ $Z$

【解答欄】

①	②	③
---	---	---

問 2-1. ④の「交差遅延効果モデル」について簡潔に説明してください。

問 2-2. ④の結果および明らかになった点を記述してください。結果には Figure1 のパス (a) (b) への言及を含めてください。

問 3. ⑤の「統制変数」を設定した理由について、本研究の内容を踏まえて簡潔に説明してください。

問 4. 本研究の課題について、「調査対象者」の点から思いつく内容を記述してください。



# ●出題意図・解答例

## ■修士課程1期・学内推薦1期入学試験

### 【英語】

#### 問題1

#### 【解答】

- ① 言語に困難さのある生徒は、社会的・情緒的な問題（不足）も抱えていることがある。これは、アイコンタクト、順番の取り方、聞き手のニーズに合わせるなどのスキルが難しいことからわかるように、語用論的な言語の障害（言外の意味をくみ取りにくいこと）が原因である可能性がある。
- ② 目配せ、目をそらす、身体の向きを変える、舌打ち、指をさす、うつむく、首を横に振る、眉をひそめるなど。（非言語的な手がかりを通じて伝えたい意図等を表すこと。）
- ③ 言語と話し言葉の困難さは、LD、注意欠如多動性障害（ADHD）、自閉症、行動障害、不安障害、およびうつ病の増加した有病率と関連していることを明らかにした。

#### 【出題意図】

英文文献読解の基礎的な力について調べる問題である。言語に困難さのある生徒の社会的・情緒的困難さに焦点をあてて回答することを求めた。

#### 問題2

#### 解答例

- (1) ひきこもりの特徴は、(a) 一日の大半を家で過ごすこと、(b) 社会参加（就労や就学など）を避けること、(c) これらの状態が少なくとも6ヵ月間続くこととされる。
- (2) ひきこもり当事者家族の多くは、精神的健康問題に関する知識不足や、精神的健康全般およびひきこもりに関するスティグマのために、患者への関わり（アプローチ）や専門的支援を求めることを数年間ためらうとされている。
- (3) 本プログラムによる効果として、4ヵ月後の追跡調査では、参加者の精神的健康度に改善が見られたが、ひきこもり支援に対する信頼感は低下した。また、精神的健康問題に対するスティグマには変化が見られなかった。短期的には、ひきこもり当事者へ関わるスキルの認知に向上が認められた。さらに、ひきこもり当事者自身による社会参加や支援の利用といった、実際の行動変容も観察された（20人中6人）。研究上の問題点として、対照群を用いない単群計画であるため、プログラムの因果関係は明らかになっていないこと、被験者数が少なかったため参加者の選択バイアスが生じ、それが結果に影響している可能性があることが挙げられる。

### 【小論文】

#### 評価の基準

- (1) 解答用紙の概ね3/4以上を書き込んでいるか。
- (2) 明確な日本語で書かれているか。
- (3) 「子どもの権利」の理解を促す取り組みについて、「子どもの人権」が権利理解を推進し、「子ども固有の権利」は、権利理解を留保する。キーワードを適切に理解した上で、論理的に書かれているかが評価の対象であり、権利理解の推進/留保の主張・判断は評価の対象ではない。

- 参考 1) 日本子ども虐待防止学会（2023）. こども大綱の策定に関する要望書.  
2) 勝野正章（2022）. 子どもの権利保障と学校教育——教育行政の課題. 学術の動向  
3) 伊藤健治（2020）. ポスト・リベラリズムにおける子どもの権利論. 北海道大学博士論文

## 【専門科目】

### 問題 1

- ①第2種の過誤
- ②三項随伴性
- ③30
- ④副交感
- ⑤解離
- ⑥動機づけ面接法
- ⑦フリン効果
- ⑧アレキシサイミアあるいは失感情症
- ⑨ストレンジシチュエーション法
- ⑩妥当性尺度

### 問題 2

#### (1) 平行遊び

パーテンの遊びの分類の一つ。一見、友だちとのそばで同じような遊びをしているように見受けられるが、実際は互いの活動は独立しており、関わり合いや会話などのやり取りがない状態の遊びをさす。友だと一緒に遊ぶ連合遊びや協同遊びが増える前の2歳代で最も多くみられ、その後減少していく。

参考：中島義明（1999）. 心理学辞典 pp. 778.

堀野 緑・濱口佳和・宮下一博（編著）（2000）. 子どものパーソナリティと社会性の発達 北大路書房

#### (2) インクルーシブ教育

基礎的環境整備を基盤とし、一人ひとりの子どもの教育ニーズに合わせて支援を付加することで、すべての子どもを包み込む共生社会を目指す教育のこと。障害のある子どももそうでない子どもも含めた、特別支援教育を支える考えであり、多様性の尊重の強化、障害のある子どもの可能な限りの発達、生活する地域での教育の享受等を目的とし、合理的配慮の提供や、学業面・社会面の発達を最大にする環境で個別化された支援等を行う。

参考：子安増生・丹野義彦・箱田裕司（監）（2021）. 現代心理学辞典 有斐閣 pp. 42.

#### (3) ミラーニューロン

神経生理学者リブラッティらによって発見されたニューロンで、サル自身がある行為を実行する際だけでなく、他者が同じ行為を実行するのを観察した際にも活動する特性をもち、自分と他者の行為を鏡に映したように応答することから名づけられた。他者の行為や意図の理解に加え、ヒトでは模倣や社会的認知、特に自閉スペクトラム症における「ミラーシステム不全仮説」との関連も示唆されている。

参考：子安増生・丹野義彦・箱田裕司（監）（2021）. 現代心理学辞典 有斐閣 pp. 733.

#### (4) エディプスコンプレックス

フロイトの精神分析学の基本概念で、異性の親への性愛・近親姦の願望や、同性の親への競争、親殺しの願望などの無意識的願望と、それらの願望への罪悪感といった複合感情のこと。父親と知らずに実父を殺害し、母親と結婚したギリシャ神話のエディプス王の悲劇の物語から、命名された。コンプレックスが強まる3～6歳の時期をエディプス期という。

参考：子安増生・丹野義彦・箱田裕司（監）（2021）. 現代心理学辞典 有斐閣 pp. 60. 中島義明（1999）. 心理学辞典 pp. 68.

#### (5) CHC 理論（Cattel-Horn-Carroll theory）

キャッテルとホーン、キャロルの頭文字をとって名づけられた知能理論。知能はスピアマンのg因子に類似した「一般知能」を頂点とし、「広範的能力」、「限定的能力」の3層からなるとする。知能の因子分析的研究の集大成であり、人間の認知能力を捉える共通の分類法（コンセンサスモデル）として推奨され、この理論に準拠した知能検査の改訂が行われている。

参考：子安増生・丹野義彦・箱田裕司（監）（2021）. 現代心理学辞典 有斐閣 pp. 277. McGrew（2009）.

CHC theory and human cognitive abilities project: Standing on the shoulders of the giants of psychometric intelligence research. Intelligence, 37, 1-10.

### 問題 3

#### 《解答例》

##### 【問 3-1】

デモグラフィック変数とは人口統計学的変数のことで、年齢、性別、学年、職業、居住地域といった客観的な性質を指す変数のことを指す。

##### 【問 3-2】

研究の目的では、大学生活への満足度について検討しようとしている。しかし、ここで使われている変数は、友人関係の満足度である。友人関係の満足度は大学生活への満足度の一部とは考えられるが、学修に関する満足度など、大学生活の満足度の要因はほかにも考えられる。そのため、広く大学生活への満足度を測定できる尺度を使用する必要がある。

##### 【問 3-3】

クラスターⅠの名称 高抑うつ高不安群

命名の理由 抑うつ、不安とも全体の平均より1SDを超える高さを示しており、抑うつも不安も高い人たちのクラスターと考えられるため。

クラスターⅡの名称 高抑うつ低不安群

命名の理由 抑うつは全体の平均より1SDを超える高さを示しているが、不安は全体の平均よりも低い値を示しており、抑うつは高いが不安は低い群と考えられるため。

クラスターⅢの名称 低抑うつ低不安群

命名の理由 抑うつ、不安とも全体の平均より低く、抑うつも不安も低い人たちのクラスターと考えられるため。

##### 【問 3-4】

3群以上の平均値の差の検定は、t検定を繰り返すと誤差が重なり不正確な結果となる。この場合、分散分析を適用する。また群間比較なので、被験者間要因の分析となる。より詳しく言うと、1要因3水準被験者間要因の分散分析を使用する。

##### 【問 3-5】

この研究や先行研究では、抑うつや不安と大学生活の満足感との関係は明らかにできるが、両者の因果関係については明らかにできない。ところが考察では満足度を高めるためには、抑うつと不安を下げる支援が有効としている、つまり抑うつ、不安が原因、満足度が結果という因果関係があるように書かれている。因果関係はその逆の可能性や共変量の存在も考えられ、そこに言及するのは不適切である。

## ■修士課程2期・学内推薦2期入学試験

### 【英語】

#### 出題意図

英語で書かれた心理学の論文や文献を読む力を調べる問題である。特に、発達障害や数学不安について、その基本的な知識を用いながら読解や翻訳することを求めた。

#### 問題1

##### 【問題1】

- ①自閉スペクトラム症（自閉スペクトラム障害）（ASD）は、社会的コミュニケーションの困難と、制約的で反復的な行動パターンにより特徴づけられる（を特徴とする）。
- ②例えば、最近のメタ分析では、不安障害（不安症）、抑うつ、そして強迫性障害（強迫症、OCD）が、一般の人に比べ自閉症（自閉スペクトラム症、自閉スペクトラム障害、ASD）の人において高頻度で認められることが示されている。

##### 【問題2】

ASD や ADHD のある人は、不安、抑うつといった内在化の問題を抱えやすい。しかし、ASD についての研究が大半を占めている上に、ASD と ADHD の併発が生じやすく、ASD と ADHD それぞれに特有の内在化の問題を特定することが困難である（が明らかになっていない）。

#### 問題2 出題者が想定していた解答例

1. 基礎的な算数手腕 → 基礎的な算数スキル（1段落目）
2. ジェイムソンは言う。 → 「これは循環している」とジェイムソンは言う。（1段落目）
3. 中学生や高校生になると、 → 中等学校や中学校の頃に（2段落目）
4. 本文の「数学的概念に直面するようになる。」の後に、「と出現するのが普通である」を挿入。（2段落目）
5. 一般的な不安を支配できて、 → 一般的な不安を統制した後も（3段落目）
6. 男子の不安 → 女子の不安（3段落目）

### 【小論文】

#### 出題意図

近年の臨床心理学において重要な概念・トピックに関して、十分な知識及び論述する能力があるかを問う問題である。

#### 【評価基準】

- (1) 解答用紙の概ね3/4以上を書き込んでいるか。
- (2) 明確な日本語で書かれているか。
- (3) 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野のうち、2つの分野を取り上げているか。
- (4) 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野の各特徴を理解した上で、その分野における心理支援の具体的方法について論理的に記述しているか。
- (5) 設問内容を的確に理解しているか。内容がテーマに沿っており、表現が適切、かつ客観的であるか。

### 【専門科目】

#### 出題意図

1. 広範な領域から、重要かつ基本的な用語の知識があるかを問う問題である。
2. パーソナリティ、心理尺度、発達、臨床心理学など広い領域から、重要かつ基本的な用語の知識および論述する能力があるかを問う問題である。
3. 研究に関する重要で基本的な知識・論述する能力があるかを問う問題である。

#### 問題1

- (1) A. ビネー
- (2) クライン, M.
- (3) 自伝的記憶/エピソード記憶は×
- (4) 代理強化
- (5) ワーク・エンゲージメント
- (6) アクスライン
- (7) 生徒指導提要
- (8) カクテルパーティー効果
- (9) 国際生活機能分類 (ICF)
- (10) 信頼性

参考文献：中川佳子・高橋一公（編著）2020 心理学の世界 サイエンス社

## 問題2

### (1) タイムアウト (time out)

オペラント反応に強化子が随伴しない期間をさす。具体的には、別の場所に待機させることで、オペラント反応を行う機会を剥奪して、その反応を消去する手続きである。

### (2) 再接近期 (rapprochement)

マラー (Mahler, M.) により提唱された概念。母子の分離 - 個体化過程のうち、生後 14 ~ 24 か月の時期に相当する。前段階の練習期を通じて、幼児は母親から離れて遊び、自由な一人歩きが可能になるが、身体支配の達成の喜びと同時に分離不安が高まってくる。そのため、この時期に、自律への衝動と母親への再合体願望との間で葛藤が起こり、幼児は分離について両面的であり、母親への後追いや飛び出しなどの行動特徴が見られる。

### (3) 自我同一性地位 (identity status)

マーシャ (Marcia, J.E.) により提唱された概念。アイデンティティの危機を体験しているかどうか (危機体験の有無)、社会的事象に対してどの程度積極的に関与しているか (傾倒の程度)、という 2 つの基準に基づいて決定される心理社会的な地位のことを指す。アイデンティティ達成地位、モラトリアム地位、早期完了地位、アイデンティティ拡散地位の 4 つに類型化した。

### (4) 円環的因果律 (circular causality)

ベイトソン (Bateson, G.) が提唱したシステム論的家族療法の基本的な考え方。出来事 A が原因となり B が結果となる直線的因果律に対して、システム論では、その人個人や家族の出来事は、原因と結果がたえず循環し、家族メンバー間が相互に影響を与え合うと捉える円環的因果律を採用する。

### (5) t 検定 (t test)

帰無仮説のもとで検定統計量の標本分布が t 分布に従うことを前提とする検定の総称。一般的には、独立した 2 群の母集団における平均の差の検定をさす。各群のサンプルサイズ (標本の大きさ)、標本平均、標本分散から t 値を求め、t 分布を利用して検定が行われる。

## 問題3

### 問 1.

- ① 縦断    ②  $\alpha$     ③ 探索

### 問 2-1.

(パネル調査で得られた) 縦断データを用い 2 つの変数が双方向で影響を及ぼしあう可能性をモデルに取り込んだ上で、因果関係を分析する統計的手法。

〈用語参照〉 西田裕紀子・丹下智香子・富田真紀子・安藤富士子・下方浩史. (2014). 高齢者における知能と抑うつとの相互関係: 交差遅延効果モデルによる検討. 発達心理学研究, 25, 76-86.

### 問 2-2.

分析の結果、感染拡大に対する憂慮から孤独感に対するパス (a) は有意であり ( $\beta = .05, p < .01$ )、孤独感から感染拡大に対する憂慮へのパス (b) は非有意であった。したがって、Time1 の感染拡大に対する憂慮が、Time 2 の孤独感の高さに影響を与えることが明らかになった。

### 問 3.

感染拡大に対する憂慮と孤独感への影響が想定される変数を統制変数として分析することで、その影響を除去した因果関係の検討が可能となるため。

〈用語参照〉 大浦 宏邦. (2014). セミナー 2 統制変数の利用と注意事項, コンピュータ&エデュケーション, 2013, 34, p. 32-37.

### 問 4.

- ・インターネット調査によるサンプルの偏りがあった可能性
- ・(調査期間中は感染状況が大きく変動している時期であり) 属性や居住地域によって、感染状況や社会的活動の制約が異なっていたこと など